

---

---

# 平成28年度防災意識アンケート調査報告書 概要版

---

---

四 日 市 市  
四 日 市 市 自 治 会 連 合 会  
四 日 市 市 地 区 防 災 組 織 連 絡 協 議 会

# I 調査概要

---

## 1. 調査の目的

地域や四日市市が実施してきた防災に関する取組について市民への浸透度を把握し、地域防災の活性化や地域においてどのような防災活動が必要なのかを検討する上での参考資料とすることを目的として、四日市市自治会連合会及び四日市市地区防災組織連絡協議会、四日市市の共催にて実施しました。

## 2. 調査対象者

各地区自治会組長

## 3. 調査内容

1. 回答者の性別・年齢・住所
2. 家の中の安全対策について
3. 備蓄品について
4. 非常持出品の準備について
5. 家族防災手帳について
6. 四日市市津波避難マップについて
7. 四日市市防災マップについて
8. 避難所の場所について
9. 避難行動について
10. 防災訓練について

## 4. 有効回答件数・回収率

|        |        |
|--------|--------|
| 調査対象件数 | 7,597名 |
| 有効回答件数 | 6,586名 |
| 回収率    | 86.7%  |

## 5. 調査の方法

調査対象者に対して各町自治会長を通じてアンケート調査票の配布と回収を行いました。

## 6. 調査の期間

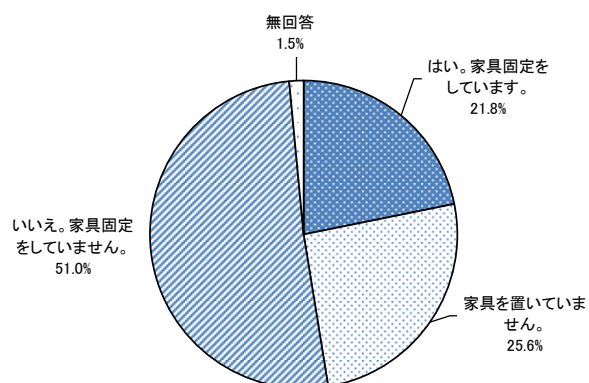
平成28年10月1日～12月28日

## Ⅱ 調査結果の抜粋

### 1. 家の中の安全対策について

寝室の家具固定をしていますか。

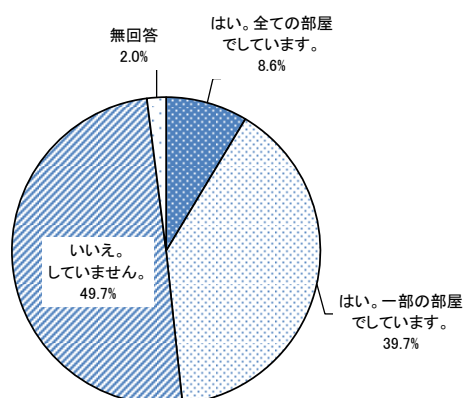
(N = 6586)



「はい。家具固定をしています。」が21.8%、「家具を置いていません。」が25.6%と合計47.4%が対策を講じている。しかし「いいえ。家具固定をしていません。」が51.0%と最も高く過半数を占めた。

大型家具の転倒防止対策を実施していますか。

(N = 6586)



「はい。全ての部屋でしています。」が8.6%、「はい。一部の部屋でしています。」が39.7%と合計48.3%が大型家具の転倒防止対策を実施している。

しかし「いいえ。していません。」が49.7%と最も高くなっている。

#### 考察

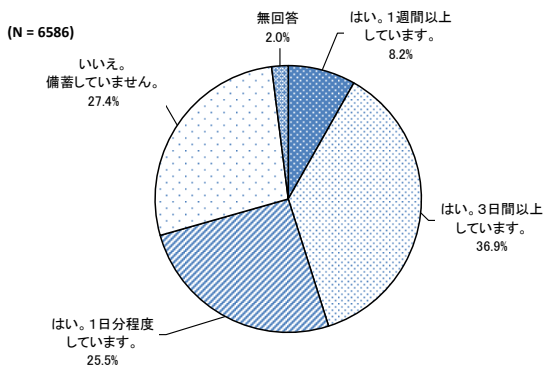
寝室の家具固定や大型家具の転倒防止対策について、約半数しか対策を実施されていない結果が明らかになりました。

阪神淡路大震災等の大規模地震では、家具転倒による圧迫死が大きな死因のひとつとなっています。

自らの命や家族の命を守り、家の中での大切な家財の損失を軽減する為にも、家具固定の実施を徹底しましょう。

## 2. 備蓄品について

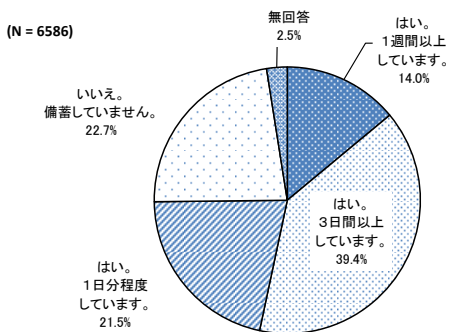
### 食品の備蓄をしていますか。



「はい。1週間以上しています。」が8.2%、「はい。3日間以上しています。」が最も高い36.9%、「はい。1日分程度しています。」が25.5%となっており、合計70.6%が備蓄を実施している。

しかし、「いいえ。備蓄していません。」が27.4%となっている。

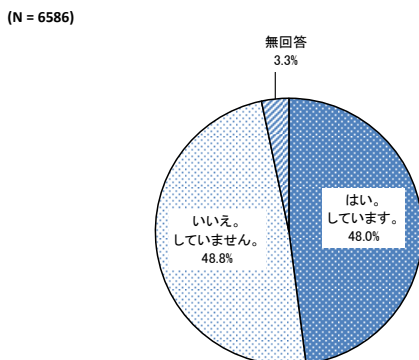
### 飲料水の備蓄をしていますか。



「はい。1週間以上しています。」が14.0%、「はい。3日間以上しています。」が最も高い39.4%、「はい。1日分程度しています。」が21.5%と飲料水については合計74.9%が備蓄を実施している。

しかし22.7%が「いいえ。備蓄していません。」となっている。

### 食糧以外の生活用品を備蓄していますか。



「はい。しています。」が48.0%、「いいえ。していません。」が48.8%、とほぼ同率となっている。

### 考察

本市にも影響を及ぼすと想定されている「南海トラフ地震」は、三重県だけでなく、国内の広範囲に被害が及ぶと想定されています。

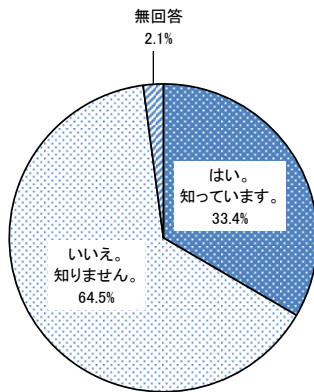
そのため、地震発災後に支援の手が届くまでに時間を要すると考えられ、約1週間程度の家庭内備蓄が必要と言われています。

ローリングストックの手法も取り入れるなど工夫をして、食糧に加え生活用品も忘れることなく、より一層の備蓄を実践していきましょう。

### 3. 家族防災手帳について

四日市市が発行している家族防災手帳（大人版・こども版）を知っていますか。

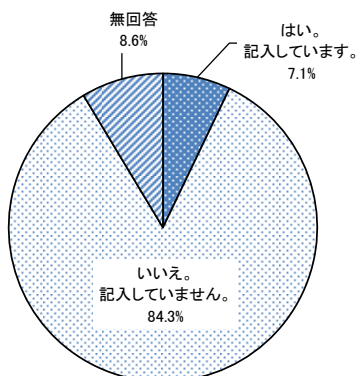
(N = 6586)



「はい。知っています。」が33.4%、「いいえ。知りません。」が64.5%となっている。

ご家庭内で家族防災手帳に家族で決めた避難方法等を記入していますか。

(N = 6586)



「はい。記入しています。」は7.1%と少なく、「いいえ。記入していません。」が84.3%となっている。

#### 考察

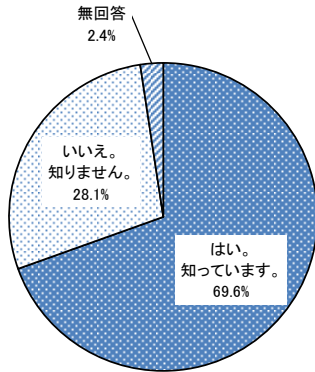
家族防災手帳は平成27年度に全戸配布しておりますが、認知度及び利活用の値が非常に低い結果となりました。

家族防災手帳を活用し避難先や安否確認の方法を家族で事前に決めておきましょう。

#### 4. 四日市市津波避難マップについて

四日市市津波避難マップを知っていますか。

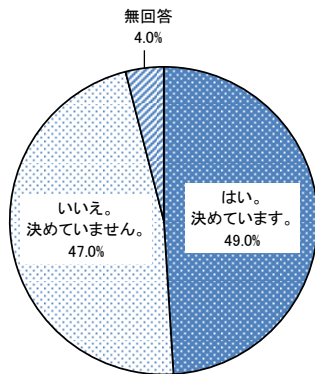
(N = 6586)



「はい。知っています。」が69.6%、「いいえ。知りません。」は28.1%となっている。

四日市市津波避難マップで避難する高い所を決めていますか。

(N = 6586)



「はい。決めています。」が49.0%、「いいえ。決めていません。」は47.0%となっている。

#### 考察

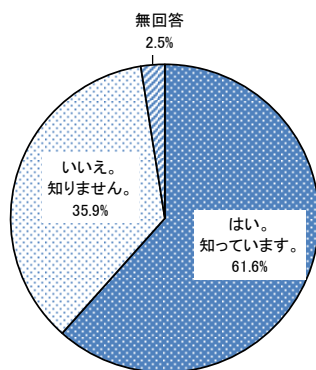
津波避難マップの認知度は約7割と高い値となっていますが、マップを利用し避難先を決めている方は約半数に留まっています。

自宅や勤務先等から最寄りの津波避難ビルを確認することはもちろん重要ですが、それ以上に学校などの指定避難所や浸水想定ライン、津波避難目標ライン(海拔5m)が市内のどのあたりを通過しているのかについても確認しておきましょう。

## 5. 四日市市防災マップについて

四日市市防災マップを知っていますか。

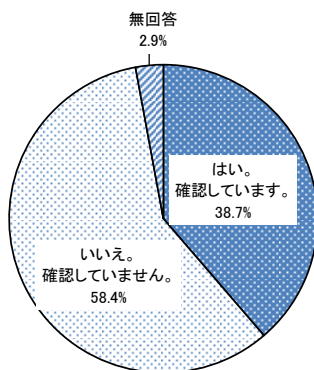
(N = 6586)



「はい。知っています。」が 61.6%、「いいえ。知りません。」は 35.9%となっている。

四日市市防災マップで自分の住んでいるところの危険な所を確認していますか。

(N = 6586)



「はい。確認しています。」は 38.7%、「いいえ。確認していません。」は 58.4%となっている。

### 考察

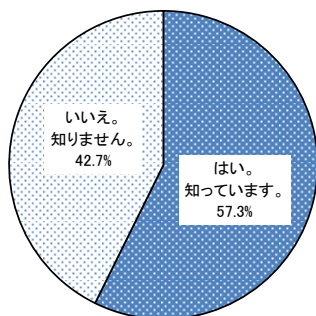
四日市市防災マップについても、津波避難マップと同様に認知度は高いですが、利活用については、約 4 割に留まっています。

自分の住んでいる土地が、浸水区域に入っていないかを確認するとともに、避難先や学校、勤務先等が浸水区域に入っていないか等も確認し、日頃から意識してマップを見ておきましょう。

## 6. 避難所の場所について

南海トラフ地震（理論上最大クラス想定）の津波浸水想定区域内にお住みの方にお聞きします。津波避難ビルを知っていますか。※無回答を含めず計算している

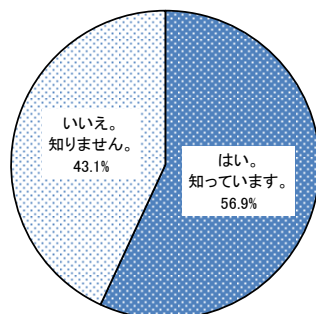
(N = 2287)



「はい。知っています。」が 57.3%、「いいえ。知りません。」は 42.7%となっている。

南海トラフ地震（理論上最大クラス想定）の津波浸水想定区域内にお住みの方にお聞きします。自宅から最寄りの津波避難ビルを知っていますか。※無回答を含めず計算している

(N = 2262)



「はい。知っています。」が 56.9%、「いいえ。知りません。」は 43.1%となっている。

### 考察

津波浸水想定区域が自分の住んでいる地域内にある方に限定した質問ではありますが、「津波避難ビルを知っている」「自宅から最寄りの津波避難ビルを知っている」はともに約6割となっています。

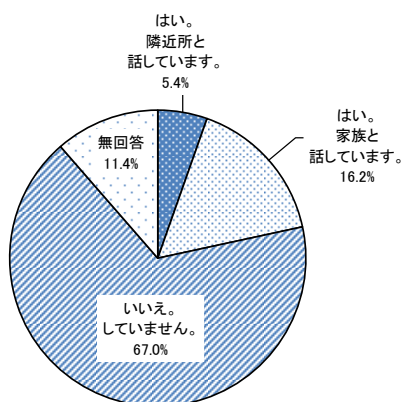
自分が住んでいる地区の津波浸水想定区域や津波避難ビルの場所を事前にしっかりと把握しておきましょう。



## 7. 避難行動について

避難の際、支援を必要とする人の避難方法を話し合っていますか。

(N = 6586)



「はい。隣近所と話しています。」が5.4%、「はい。家族と話しています。」が16.2%と避難方法を話し合っている割合が合計21.6%となっている。

「いいえ。していません。」が67.0%となっている。

### 考察

支援を必要とする人への対策を話し合っている方は、約2割に留まっています。

大規模災害の際、高齢者や乳幼児は、ひとりで避難行動をすることは困難です。家族の方や近所の方が協力し合うことで助かる命がたくさんあります。災害時には、まず自分の命を守ることが第一ですが、その次は家族や周りの方の命を守ることです。

身近な所にいる支援を必要とする方をどう助けるかなど、災害が発生する前に話し合っておくことはとても大切なことです。お互いが協力し合い、また助け合いながら、災害に負けない活動を平時から実施しておきましょう。

## まとめ

今回のアンケート調査では、家具固定や家族防災手帳等の市の発行物について、まだまだ多くの方に対策や活用が浸透していないという結果が判明しました。また、食糧等の備蓄については、3日間以上の備蓄ができている割合は高いですが、1週間以上の備蓄については約1割程度に留まっています。さらに、避難行動における要支援者対策については、対策を講じている方が全体の約2割とまだまだ浸透していないことが明らかになりました。

家具固定や食料備蓄、家族防災手帳等を活用した災害対策は、個人や家庭でできる効果的な防災・減災対策です。また、避難行動における要支援者対策は、地域の方々が力を合わせ協力し合うことが大切です。

本市としましても、今回明らかになった結果を真摯に受け止め、より一層の啓発活動を推進してまいります。地域におかれましても、このアンケート結果を参考にいただき、防災訓練等に織り込むなど災害に強い地域づくりに繋げていただければ幸いです。

最後になりましたが、本アンケートの実施にご協力をいただきました、四日市市自治会連合会と四日市市地区防災組織連絡協議会の関係者の皆様、ならびに本アンケートの配布と取りまとめをしていただきました各地区自治会長様及びご回答をしていただきました各地区自治会組長様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

事務担当  
四日市市役所 危機管理室  
中山  
TEL : 059-354-8119  
FAX : 059-350-3022